富山県立滑川高等学校

	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	薬業科・商業科 海洋科	3	地理・歴史	日本史A	2	高校日本史A（実教出版）					
	科目の目標	我が国の近現代を中心とする歴史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。									
	評価の観点	関心・意欲・態度 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	思考・判断・表現 歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	技能 歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	知識・理解 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。					
月・考査等	単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法					
4	近代への転換	・異国船の接近と幕藩体制の動揺 ・開国と社会の変動 ・尊皇攘夷から倒幕へ	・欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で開国し、国際社会に組み込まれた我が国で、天皇を中心とする統一国家思想が生まれ、尊王攘夷運動や討幕運動などの動きを経て明治維新に至った過程を考察する。		新詳日本史（浜島書店）	生徒観察 発表 ノート	○	○		○	
		・明治維新と新政府の成立	・旧幕府軍の抵抗を排除しながら、中央集権国家を建設するために、廃藩置県など一連の政策を推し進めていったことを考察する。			生徒観察 発表 ノート	○			○	
5											
中間考査											
	大日本帝国の形成	・文明開化と復古 ・地租改正と富国強兵 ・アジア外交と国境問題	・明治政府が富国強兵・殖産興業政策の実現のために、封建的身分制度の廃止、学制や徴兵令、地租改正など一連の制度改革を推進していったことを考察する。 ・明治政府が、日本の国際的地位を向上させるための対外政策や、我が国の領土がロシアなどとの間で国際的に確定されたことを考察する。			生徒観察 発表 ノート 生徒観察　ノート 発表 ノート	○	○	○	○	
6		・民権思想と国会開設運動 ・私擬憲法と政党の結成 ・松方財政と民権運動の激化	・政府が強力な中央集権体制を構築していく中で、藩閥専制の傾向を強めたため、国民の間に政治的関心が高まり、自由民権運動が展開されていった経緯を考察する。 ・デフレ政策によって資本主義経済体制が確立した結果、農民層の分解が進み、それが民権運動にも大きな影響を及ぼしたことを考察する。			生徒観察 発表 ノート 生徒観察 発表 ノート	○	○	○	○	
期末考査 7											
		・大日本帝国憲法の制定	・大日本帝国憲法制定の経緯や内容の特色をとおして、我が国の近代国家としての特質を考察する。 ・初期議会において、藩閥や官僚勢力と対立していた政党が、支持基盤を拡大していった経緯を考察する。			生徒観察 発表、ノート 生徒観察、発表 ノート		○ ○	○ ○	○ ○	
8											
課題テ											
9	大日本帝国の展開	・条約改正と立憲政友会の結成 ・朝鮮政策と日清戦争 ・日清戦争後のアジア ・日露戦争と朝鮮 ・資本主義と寄生地主制 ・社会問題の発生	・条約改正交渉の過程を、当時の国際環境と関連づけて考察させる。その際に、我が国が不平等な立場を脱却できたことの意義について考察する。 ・日清・日露戦争によって国際的な地位を高めた我が国が、東アジアや欧米との関係にどのような変化を生じさせたかについて、国内世論や、アジア諸民族の独立・近代化の運動に関連づけて考察する。 ・我が国が金融制度や産業基盤の整備を進めた結果、アジア随一の工業国となった一方で、国内では階級分化の進展、寄生地主制や労働問題、公害等の社会問題が発生したことを考察する。			生徒観察 発表 ノート 生徒観察 発表 ノート 生徒観察 発表	○	○ ○	 ○	 ○ ○	
10	両大戦間の世界と日本	・大正デモクラシー ・第一次世界大戦 ・日本資本主義の成長 ・米騒動と改造の時代 ・男子普通選挙法と治安維持法	・政界から政党を排除しようとする政府に対して、政党が第一次護憲運動、米騒動、原内閣の成立や第二次護憲運動をとおして国民の支持を得、政党政治を確立していったことを、各事象の意義を踏まえながら考察する。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢や日本の勢力拡張、アジアにおける民族運動の高揚、軍縮を核とする国際協調体制の確立などに着目して考察する。 ・経済の発展や思想の動向、教育の普及などによって大衆社会の基盤が形成された結果、普通選挙法の制定に至ったことを当時の国際情勢や政府の対応に着目させて考察する。			ノート 生徒観察 発表 ノート 生徒観察 発表 ノート 生徒観察 発表	 ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	
中間考査											
	１５年戦争と日本・アジア	・満州事変と「満州国」 ・日中戦争 ・第二次世界大戦と日本 ・アジア・太平洋戦争	・世界恐慌による資本主義諸国の経済危機と保護貿易への傾倒、全体主義の台頭による国際協調の崩壊などの国際的な動きに着目して、日本の外交や経済の動向、軍部の台頭による政党政治の崩壊など一連の変化を考察する。 ・日中戦争の長期化及び日本を取り巻く国際環境の悪化、国内の戦時体制の強化という動きに着目して、我が国で全体主義的な国家体制が進展し、やがて第二次世界大戦に拡大していった過程を考察する。			生徒観察 発表 ノート 生徒観察	,○	○ ○	 ○	○ ○	
11	戦後改革と高度経済成長	・戦争末期の国民生活 ・日本の敗戦 ・戦後世界と日本 ・戦後アジアと日本・アメリカ	・戦後の民主化を進める諸改革の内容をアメリカの対日占領政策の内容とその推移、東アジア情勢の変化に関連づけて考察する。			発表 ノート 生徒観察 発表 ノート			○	○	
期末考査 12											
		・日本国憲法と民主主義体制 ・戦後改革の転換 ・経済復興と再軍備 ・サンフランシスコ平和条約 ・日米新安保条約	・日本国憲法の特徴と成立の意義を認識し、日本を民主主義的な国家として再建しようとする過程を、政治史的側面を中心に考察す ・冷戦の激化という国際情勢のもと、アメリカの対日占領政策が転換したことで、日本の独立達成、日米安保条約の締結に至ったことを、経済面と関連づけて考察する。			生徒観察 発表 ノート	○	○	○		
1											
課題テ											
		・高度経済成長と公害	・戦後の窮乏期を脱した我が国が、高度経済成長期に至った過程や、国民生活の変化、公害問題の発生などと関連づけて考察する。			生徒観察 発表 ノート			○	○	
2	現代の世界と日本	・低成長への転換 ・経済大国と国民生活 ・世界の変動と国際関係 ・湾岸戦争後の世界と日本	・70年代の国際経済体制の変化や石油危機を経た我が国が、やがて世界有数の経済大国となった過程を国民生活か関連づけて考察する。 ・東西冷戦が終結する中で、民族問題、宗教問題などが激化し、新たな局面を迎えた国際環境を、日本の国際的役割と関連づけて考察する。			生徒観察 発表 ノート 生徒観察 発表 ノート	 ○	○ ○	 	○ ○	
学年末考査											
		・２１世紀の日本社会 ・２１世紀の世界と日本	・これまで学習したことをふまえ、現代の日本の課題について調査し、レポートにまとめて発表する。			レポート	○	○	○		
3											